

ナガサキポルトガルシルシル塾

写真：史跡) 出島内：ポルトガル「フレンドシップメモリー」





塾長 山口 克己

■ 塾長コメント ■

活動 2 年目の今年は、ナガサキポルトガルシルシル塾と名前を改めて活動をスタートしました。初年度は「ながさきポルトガル」知る知る塾だったのですが、(かな)(漢字)(カナ)とバラバラではなく、カナに統一。長崎とポルトガルのさらなる融合を目指して、長崎南蛮人会を重ねていったのでした。初年度の活動で繋げていった交流の糸を、今年はさらに深めてゆき「絆」へと進化させていく 1 年だったと思います。個人的には念願であった「ポルトガル」の地を訪れる機会を得て、いろんな文化や習慣、さまざまな出来事を肌で感じる事ができたのは貴重な経験だったと実感しています。あらためて、長崎とポルトガルの絆を知ることになった 1 年だったとも言えます。塾生はもとより、いろんな活動において講師をしていただいた方々、ご協力いただいた方々、これまでに出会ったすべての人たちに感謝の 1 年でした。本当に、「ムイトオブリガード！」ですばい。

■ 塾の目的 ■

塾のコンセプトは、今年も変わらず「長崎のポルトガルを掘り起こせ！」です。身近に

残る言葉や習慣、さまざまな文化を、みんなで体験して、実感して、伝えていきたい。そんな思いを胸に今年も 1 年間活動してきました。それともうひとつ。人とのつながりを大切に活動すること。これも大きな目的となりました。昨年、手探りの活動を始めて出会ったたくさんの人たちに助けられ、今年があったように思います。「経験を学ぶこと」ちょっと変な言葉ですが、まさに学びのための経験であったと思います。そして、その経験をたくさんの人に伝えるために、今年は活動を重ねていきました。



「坂の町ポルト(長崎市の姉妹都市)」

■ 塾の研究・活動内容 ■

なぜか親しみ深い「ポルトガル」。この国が、どんな国なのかを学んだり、どんな文化があるのか、どんな料理があるのか、どんな音楽が、どんな人が暮らしているのか？いろ

んな事に興味を持って取り組みました。6月には、国際交流の舞台でもある出島において、昨年のご協力いただいたポルトガルギター＆マンドリンデュオの「マリオネット」さんと、女性ファディスタ「鹿糠ちはる」さんにご賛同いただき、東日本大震災支援のチャリティライブを行いました。塾生の他にもたくさんの市民の方にご参加いただき、ポルトガルギターや、ファドの歌声にはじめて触れる機会を得た方達もたくさんいらっしゃいました。今年の1月には、一般の参加者（お母さんと子供たち）にポルトガルスイーツ「パオンデローとエッグタルト」の体験教室も行い、音楽と食文化の両方を体験してもらえる機会を実現できたことは大きな成果だったと感じています。昨年の活動で実践することのできなかったポルトガル料理の体験会も今年是实现することができました。長崎南蛮人がまた増えたことを実感しています。



「ポルトガル伝統のお菓子」（フィリヨース）

■ 塾活動の成果 ■

「ポルトガルに関するいろんな事を体験する。」このことは1年を通じていろんな形で実行できたと思います。塾生と一緒に、いろんな事を体験し、長崎とポルトガルの絆を感じることができたかと確信しています。昨年度は成果として長崎ポルトガルマップを作成し市内のポルトガルゆかりのポイントを紹介す

る資料を作成しました。今年度は果たして何を成果として作成し活用するか？塾生と協議を重ねた結果、長崎の将来をにう子供たちにもポルトガルと長崎のことを知ってもらおうと考え「ナガサキポルトガルシルシルカルタ」を製作することとなりました。カルタといっても塾でも活動している「ウンスンカルタ」ではありません。いわゆる「犬も歩けば・・・」といった「いろはカルタ」のスタイルです。「あ」から「わ」までの44文字を読み札として塾生全員でアイデアを持ち寄り、読み句を作成し完成させた物です。たとえば、「あ」は、「青い海 白く帆をはる サグレス号」といった2010年に訪れたポルトガルの帆船「サグレス号」を詠んだ句や、「カステラの ルーツなのかな パオンデロー」といったものなど、文化・習慣・地名・行事といった幅広い分野にわたって遊びながら学ぶことのできるカルタになったのではと思います。長崎の小学校に配られたこの「ナガサキポルトガルシルシルカルタ」が、たくさんのこどもたちにとって長崎とポルトガルの事を知るきっかけになってもらえれば、こんなにうれしいことはありません。なぜなら、10年後、20年後、たくさんの「長崎南蛮人」が増えていくかも知れないのですから。



「長崎ポルトガル」ミニミニさるくMAP

ナガサキポルトガルシルシル塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 23 年		
5 月 13 日(金)	長崎県勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式 第 1 回 塾会議(自己紹介)
5 月 28 日(土)	アマランス第一会議室	第 2 回 塾会議(ファーストディスカッション)
6 月 7 日(火)	アマランス第一会議室	第 3 回 塾会議(活動内容会議)
6 月 15 日(水)	出島・旧長崎内外クラブ	第 4 回 塾会議「ポルトガルナイト in 出島」 特別講演 講師：湯浅隆氏、吉田剛士氏
6 月 16 日(木)	長崎市公会堂	特別行事：マカオの夕べ(マカオ観光局主催)鑑賞
6 月 18 日(土)	アマランス第一会議室	第 5 回 塾会議(長崎ポルトガルカルタ製作会議)
7 月 5 日(火)	アマランス第一会議室	第 6 回 塾会議(定例会議)
7 月 23 日(土)	アマランス第一会議室	第 7 回 塾会議(ポルトガル視察報告会) 特別講演「長崎とポルトガル」講師：原田博二氏
7 月 30 日(土)	イリス長崎 2 階調理室	第 8 回 塾会議「ポルトガル料理体験会(第 1 回)」
8 月 2 日(火)	アマランス第一会議室	第 9 回 塾会議(定例会議)
8 月 27 日(土)	アマランス第三会議室	第 10 回 塾会議(定例会議)
9 月 6 日(火)	アマランス第一会議室	第 10 回 塾会議「学習研究会：南蛮屏風を学ぶ」
9 月 17 日(土)	イリス長崎 2 階調理室	第 11 回 塾会議「ポルトガル料理体験会(第 2 回)」 特別指導 講師：小林若菜氏
10 月 4 日(水)	アマランス第一会議室	第 12 回 塾会議(研修旅行事前協議)
10 月 13 日(木)	メルカつきまち 5 階	長崎伝習所 中間報告会
10 月 15 日(土)	熊本県人吉市鍛冶屋町	第 13 回 塾会議 研修旅行：人吉ポルトガル文化交流
10 月 18 日(火)	アマランス第一会議室	第 14 回 塾会議(研修旅行反省会&かるた製作会議)
11 月 8 日(火)	アマランス第一会議室	第 15 回 塾会議(かるた製作会議)
11 月 26 日(土)	アマランス第一会議室	第 16 回 塾会議(かるた製作会議)
12 月 6 日(火)	アマランス第一会議室	第 17 回 塾会議(かるた製作会議)
12 月 17 日(土)	出島・神学校研修室	第 18 回 塾会議(2011 年総括と慰労会)

日 時	場 所	内 容
平成 24 年		
1 月 10 日 (火)	アマランス第一会議室	第 19 回 塾会議 (かるた製作会議最終確認)
1 月 14 日 (土)	長崎ブリックホール	国際交流ちゃんぽんフェスタ参加 (国際課イベント参加)
1 月 28 日 (土)	イリス長崎 2 階調理室	ナガサキポルトガル交流 DAYS ポルトガルスイーツ体験会 特別指導 講師：小林若菜氏
1 月 28 日 (土)	松翁軒 2 階喫茶室	ナガサキポルトガル交流 DAYS 高柳卓也ファドライブ 特別講演 講師：高柳卓也氏
2 月 14 日 (火)	アマランス第三会議室	第 20 回 塾会議 伝習所まつり準備会
2 月 25 日 (土)	アマランス第一会議室	第 21 回 塾会議 伝習所まつり準備会
3 月 16 日 (金)	アマランス第一会議室	第 22 回 塾会議 伝習所まつり準備会
3 月 20 日 (火)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 活動内容パネルの展示、イベントクイズなどを実施 ① ナガサキポルトガルカルタ (プレ実施) ② ナガサキポルトガルカルタ (ステージ実施) うんすんかるた体験会実施、帆船模型製作体験
3 月 27 日 (火)	アマランス第一会議室	第 23 回 塾会議 伝習所まつり反省会 (年度閉塾会)

※他にも、出島神学校において「ウンスンカルタお稽古会」を毎月第 1 土曜日に実施

2011. 6. 15

ポルトガルナイト in 出島

東日本大震災復興支援チャリティライブ

講師：マリオネット&鹿糠ちはる氏

昨年度も塾での講師をつとめていただいたマリオネットさんがマカオ観光局主催の「マカオの夕べ」で来崎。その前日に国際交流の舞台でもあり、ポルトガルとのゆかり深い出島内の旧長崎内外クラブにおいて特別ライブを開催することが出来ました。洋館の中で美しくも切なく奏でられるポルトガルギターの旋律は多くの参加者の心に響いたことだと思います。

塾生感想：二年間の塾活動で、ポルトガルの音楽や芸術、文化にはじめて触れ、心が震えるような体験がたくさんできました。ファドとポルトガルギターに涙し、アズレージョに心洗われ、パンデローに大満足、長崎の姉妹都市ポルトの美しさに感動! Obrigada、ポルトガル!! (塾生 山口美由紀)



出島でのライブ風景

2011. 7. 23

特別講演「長崎とポルトガル」

講師：原田博二氏

ポルトガルを学ぶ講座として、長崎史談会の原田先生をお迎えしてポルトガルと日本に関する歴史を講演していただきました。日本との交流を始める前のポルトガルの歴史や、大航海時代のスペインとポルトガルの関係な

ど多くの興味ある話に塾生もこの日ばかりは学習モード全開でした。

塾生感想：ウンスンカルタからの始まりでしたが、長崎とポルトガルとの深い関係に、学び、遊び、まだまだ奥が深そうです。探究心は続きます。(塾生 吉岡陵子)



特別講演を終えて記念撮影

2011. 7. 30

ポルトガル料理クッキング体験会

長崎にはポルトガル料理レストランがない。だったら自分たちで作ろうじゃないか! と塾ではポルトガル料理のメニューから検討調査し、体当たりでポルトガル料理に挑みました。海鮮リゾットにバカリャウ(干し鱈)のコロッケ、デザートにエッグタルトと盛りだくさんのメニューにおおわらわ。予想以上にその出来はすばらしく、ムイトボン! でした。(ポルトガル語で「とても美味しい」の意味です。)



完成したポルトガル料理。スイーツはエッグタルト。

塾生感想：ポルトガル塾に参加させてもらい楽しかったです。塾長をはじめ、お世話して下さった方々大変だったと思います。この楽しい

輪が、これからも広がればいいなと思います。

(塾生 立山幸見)

塾生感想：ポルトガルの料理は大変良かったです。(塾生 若杉昭子)



ポルトガル料理完成記念でパチリ

2011. 7. 30

ポルトガルスイーツ&料理クッキング体験会

講師：小林若菜氏

二度目の料理体験は、さらにレベルアップを目指すべく、リスボン市「カステラ・ド・パウロ」で働いていた小林若菜さんを先生に迎えての料理教室となりました。ポルトガルの伝統的な食材「バカリャウ：干し鱈」を使った料理と、ポルトガル製の素焼き型でつくるパオンデローはまた格別。いわゆる生焼けカステラなのですが、いい感じに完成です。他にも前回作らなかったスープのメニューも織り交ぜて、次回是一般の人たちに紹介できる機会を。と目標を定め無事体験会を終えました。



おいしそうに焼きあがったパオンデロー(カステラの原型とも。)



先生の指導に熱心に耳を傾けて。

2011. 10. 15

研修旅行：人吉ポルトガル文化交流

ウンスカルタ大会参加

昨年も参加した人吉のウンスカルタ大会。8回目の大会は昨年のリベンジを計るべく雪辱を胸に期していざ人吉へ。昨年の全チーム惨敗を糧に今回は大健闘。ついに準優勝と4位を獲得することが出来ました。次回こそ優勝だ！しかし、実力というよりは運次第ってところが、なともはや。さてさて。

塾生感想：一番記憶に残っているのは、ウンスンの全国大会でチームが準優勝だった事。毎年優勝狙いつつ成績が悪くがっかりして帰っていたのが、今回は、優勝は逃したものの、チームワークと運で長崎によい成績をもたらす事が出来良かったです。(塾生 溝田みどり)



笑顔の参加チーム、対戦チームも笑顔。



準優勝の表彰を立山会長から受け取ります。

2011. 12. 1

フェラス駐日ポルトガル大使と懇親会

2011年、長年の任期を終えてザナッティ大使がリスボンに戻られました。その後任として新たに駐日ポルトガル大使の任についたフェラス大使と塾生との懇親会の機会を日本ポルトガル協会の安田さんに設けていただきました。フレンドリーな人柄の大使に塾生もいろんなことを話したり聞いてみたり。(もちろん通訳の方に協力していただいております。)この日約束した東京のポルトガル大使館訪問を今年は実現させますよ。そして、おいしいエッグタルトをごちそうになります。



日本食（お寿司）大好きの大使を囲んで

2012. 1. 14

国際交流ちゃんぼんフェスタ参加 (国際課主催イベント参加協力)

長崎を舞台に国際的な交流活動を行ってい

る団体が集まるイベントに参加しました。長崎市が姉妹都市として交流しているフランスのヴォスロールやアメリカのセントポールなどなど。ほかにもベトナムや韓国などいろいろな国の人たちとの交流はポルトガルだけじゃない長崎の国際性をあらためて感じることでできたイベントでした。



長崎ブリックホールにて：ウンスンカルタ体験

2012. 1. 28

ナガサキポルトガル交流 DAYS

親子ポルトガルスイーツ体験会

これまで二度にわたり体験してきたポルトガルの食文化体験。その体験を子供達にも伝えようと「ナガサキポルトガル交流 DAYS」というイベントを行いました。ランタンでにぎわう街の喧騒をよそに、15組の親子の参加者とたのしいポルトガルスイーツ体験会でした。



スイーツ体験会の風景

カステラの原型パオンデローやエッグタルト、鶏卵素麺の原型などなど。卵と砂糖たっぷりのそのスイーツに子供達の目は釘付けでした。お土産に持って帰る手製の紙箱をつくらせたりして出来上がったパオンデローとエッグタルトを試食して、お土産をもって帰る子供たちの笑顔が印象的でした。



焼き上がりを待つ子供たちの真剣なまなざし

2012. 1. 28

ナガサキポルトガル交流 DAYS

リスボンナイト in ナガサキ 松翁軒

高柳卓也ファドライブ

交流 DAYS のしめくくりは、2010 年のライブにつづく「リスボンナイト in ナガサキ」。2 度目のファドライブを松翁軒さんのご協力を得て行いました。東京で活躍されているファディスタ高柳卓也さんをお迎えして開催することが出来ました。



アンティークな雰囲気の中で熱唱する TAKU さん

今回のライブは広くポルトガルの音楽ファドを知ってもらおうと広報ながさきで参加者を募集し、たくさんの方にファドをしてもらう事ができました。やはり長崎の町にはノスタルジックな音楽はいい感じですね。昨年世界遺産にもなったポルトガルの伝統歌謡「ファド」これからも長崎の町で聞ける機会を増やしていけたらと思います。

塾生感想：6 月はあいにくの雨の中、出島内外クラブでポルトガルナイトイン出島として、マリオネットの素晴らしいライブをまた聞く事ができ感激でした。7 月は原田先生の長崎とポルトガルについて講義。9 月はポルトガル料理の体験会でカステラの原型と言われている「パオデロー」を作りました。今のカステラがやっぱり美味しいと思いました。10 月は長崎伝習所中間報告会に参加したり、熊本の人吉で開催されたウンスンカルタの世界大会に参加し、賞は取れませんでしたがとても楽しい一日でした。11 月はカルタ作り追われました。長崎とポルトガルに関わりの有るものを作るのは、とても難しかったです。今年に入ってから国際交流イベント「ブリックホール」でウンスンカルタの実演を致しました。親子で作るポルトガルスイーツ体験会「一般参加者」では時間がギリギリでアシスタントの塾生も経験不足で満足して頂けたか反省しきりでした。ファドのタベポルトガルインナガサキは高柳卓也さんのライブを松翁軒本店で行いました。今年度は音楽に始まり音楽で終わりました。とても充実した 1 年でした。(塾生 寺島和子)

毎月第 1 土曜日 出島神学校にて

ウンスンカルタお稽古会

出島内の神学校研修室で毎月 1 回、ウンスンカルタ体験会を行いました。観光で来られてい

る一般参加者の方も参加したりと、その珍しいカルタに興味津々。10月の大会前には、参加チームの練習会となり盛り上がることもしばしば。その練習のたまものか？今年も、惜しくも優勝を逃したものの、準優勝を勝ち取る事ができました。4位にも入賞したナガサキポルトガルシルシル塾チームは素晴らしい成績をおさめ、次回の優勝を新たな目標に掲げたのでした。



ウンスンカルタお稽古会風景

塾生感想：長崎とポルトガルの深い歴史のつながりを学ぶ2年間でした。心残りはウンスンカルタ大会の優勝を逃した事です。

(塾生 奥田孝雄)

2011.7~2012.2

ナガサキポルトガルカルタ製作検討準備会

今年度の目標として「ナガサキポルトガルカルタ」の製作を決定してから約半年をかけて、カルタの内容をまとめることができました。カルタの44文字の中に長崎とポルトガルのキーワードを織り込みながら読み句を作成する作業は思いの外難しく、滑り出しは順調だったものの言葉が少なくなり始めてからは悪戦苦闘の連続。なかなか思うようには捗りません。その文章も子供達にもわかりやすいようにと難しい言葉を避けながら、詠みやすい文章をと心がけて作っていきました。なかなかの力作ではないかと思います。伝習所まつりでは、そのカルタをビックサイズで製作し、輪投げスタイルの遊び方をアレンジして子供達に楽しんでもらおう

というイベントを計画しました。好評だったと思います。2年間のあいだ、長崎とポルトガルのいろんな文化や習慣にふれるなかであらためて感じたことは、決して埋もれて消えているわけではないことを知りました。ただ、当たり前のように身の回りにある言葉や物や出来事などに隠された歴史があるのです。長崎伝習所の塾としての活動はここでひとつの節目を迎えますが、ナガサキポルトガルシルシル塾はこれからもたくさんのつながりを求めて航海を続けて行きたいと思います。ここまで出会い、ご指導いただいた関係者の皆様にあらためて感謝と御礼を申し上げます。ムイトオブリガード！

製作したカルタの一例です。



製作のカルタ（あ）



製作のカルタ（ま）

ナガサキポルトガルシルシル塾

塾長	山口 克己				
1	一ノ瀬 比郎	21	安田 正次	41	
2	岡部 さつき	22	山口 美由紀	42	
3	奥田 孝雄	23	山下 富久美	43	
4	島田 和文	24	吉岡 ユリ	44	
5	武次 和正	25	吉岡 陵子	45	
6	立山 幸見	26	若杉 昭子	46	
7	寺島 和子	27		47	
8	富永 緑	28		48	
9	朝永 初巳	29		49	
10	豊田 亜貴子	30		50	
11	中嶋 光伎子	31		51	
12	平崎 保信	32		52	
13	藤永 信子	33		53	
14	船井 サナミ	34		54	
15	程野 章郎	35		55	
16	松尾 博之	36		56	
17	松本 一男	37		57	
18	眞鍋 由美子	38		58	
19	三島 由紀子	39		59	
20	溝田 みどり	40		事務局員	国際課 森川 健吾

